



# 一月一日

作詞 千家 尊福

作曲 上真行

年の始めの <sup>ためし</sup>例とて

<sup>おわり</sup>終なき世の めでたさを

<sup>まつたけ</sup>松竹たてて 門ごとに

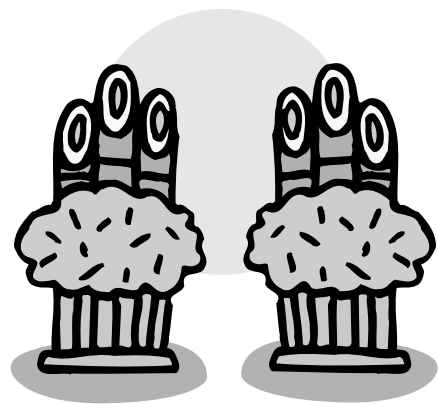
<sup>いお</sup>祝う今日こそ 楽しけれ

初日のひかり さしいでて

<sup>よも</sup>四方に輝く 今朝のそら

君がみかげに <sup>たく</sup>比えつつ

仰ぎ見るこそ <sup>とお</sup>尊とけれ

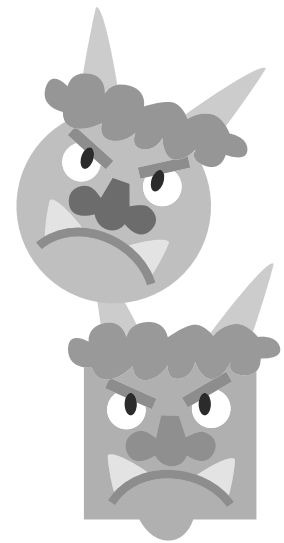


♪ 豆まき

作詞 えほん唱歌  
作曲 えほん唱歌

おにはそと  
ふくはうち  
ぱらっ ぱらっ  
ぱらっ ぱらっ  
まめのおと  
おには こっそり  
にげていく

おにはそと  
ふくはうち  
ぱらっ ぱらっ  
ぱらっ ぱらっ  
まめのおと  
はやく おはいり  
ふくのかみ



♪ さくら

作詞 不詳  
作曲 不詳

---

さくら さくら

やよいの空は 見わたす限り

かすみか雲か 匂いぞ出ずる

いざやいざや 見にゆかん



♪ おぼろ月夜

作詞 高野 辰之

作曲 岡野 貞一

菜の花畑ばたけに入日いりひ薄れ

見渡す山やまのはの端 霞深し

春風そよ吹く 空を見れば

夕日かかりて 匂い淡し

里ほかげわの火影も 森の色も

田中よもの小道を たどる人も

蛙かわずの鳴く音ねも 鐘の音も

さながら霞める 朧月夜



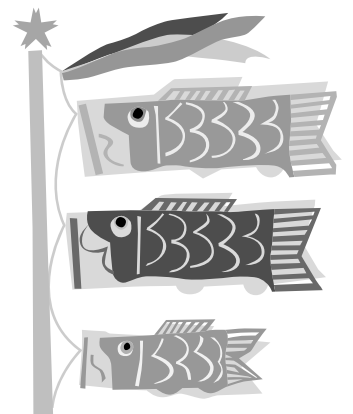
♪ 鯉のぼり

作詞 不詳  
作曲 弘田 龍太郎

<sup>いらか</sup> 蕩の波と 雲の波  
重なる波の <sup>なかぞら</sup> 中空を  
<sup>たちばな</sup> 橋かおる 朝風に  
高く泳ぐや 鯉のぼり

開ける広き 其の口に  
舟をも呑まん <sup>の</sup> 様見えて  
ゆたかに <sup>ふる</sup> 振う <sup>おひれ</sup> 尾鰭には  
物に動ぜぬ姿あり

<sup>ももせ</sup> 百瀬の滝を 登りなば  
<sup>たちま</sup> 忽ち竜に なりぬべき  
わが身に似よや <sup>おのこご</sup> 男子と  
空に躍るや 鯉のぼり



# ♪ かたつむり

作詞 不詳

作曲 不詳

でんでん虫々 かたつむり  
お前のあたまは どこにある  
つの出せ やり出せ あたま出せ

でんでん虫々 かたつむり  
お前のめだまは どこにある  
つの出せ やり出せ めだま出せ



♪ 宵待草

作詞 竹久 夢二

作曲 多 忠亮

待てど暮らせど 来ぬ人を

宵待草の やるせなさ

今宵は月も 出ぬそうな



# ♪ われは海の子

作詞 不詳  
作曲 不詳

我は海の子 白波の  
さわぐいそべの松原に  
煙たなびくとまやこそ  
我がなつかしき住家なれ

生まれて潮にゆあみして  
波を子守の歌と聞き  
千里寄せくる海の気を  
吸ひてわらべとなりにけり

高く鼻つくいその香に  
不断の花のかをりあり  
なぎさの松に吹く風を  
いみじき楽と我は聞く



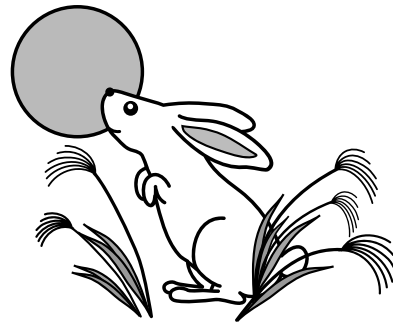


♪ うさぎ

作詞 不詳  
作曲 不詳

---

うさぎ うさぎ  
なに見てはねる  
十五夜お月さま  
見てはねる

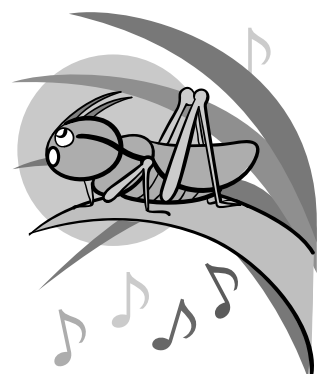


## ♪ 虫の声

作詞 不祥  
作曲 不祥

あれ松虫が 鳴いている  
ちんちろ ちんちろ ちんちろりん  
あれ鈴虫も 鳴き出した  
りんりんりんりん りいんりん  
秋の夜長を 鳴き通す  
ああおもしろい 虫のこえ

きりきりきりきり こおろぎや (きりぎりす)  
がちゃがちゃ がちゃがちゃ くつわ虫  
あとから馬おい おいついて  
ちょんちょんちょんちょん すいっちょん  
秋の夜長を 鳴き通す  
ああおもしろい 虫のこえ



# ♪ もみじ

作詞 高野辰之  
作曲 岡野貞一

秋の夕日に照る山もみじ  
濃いも薄いも数ある中に  
松をいろどるかえて楓つたや蔦は  
山のふもとのすそもよう裾模様

たに溪の流に散り浮くもみじ  
波にゆられてはなれて寄って  
赤や黄色の色さまざまに  
水の上にも織るにしき錦



♪ 冬景色

作詞 不祥  
作曲 不祥

さ霧消ゆる <sup>みなとえ</sup> 湊江の  
舟に白し 朝の霜  
ただ水鳥の 声はして  
いまだ覚めず 岸の家

<sup>からす な</sup> 鳥啼きて 木に高く  
人は <sup>はた</sup> 畑に 麦を踏む  
げに小春日の のどけしや  
かへり <sup>さき</sup> 咲の花も見ゆ

嵐吹きて 雲は落ち  
<sup>しぐれ</sup> 時雨降りて 日は暮れぬ  
<sup>も</sup> 若し <sup>ともしび</sup> 灯火の <sup>こ</sup> 漏れ来ずば  
それと分かじ <sup>のへ</sup> 野辺の里

